

町を花でいっぱい!

～矢代田駅から新潟球根(株)へ
感謝状の贈呈～

「花と緑の小須戸町」の名にふさわしく、町を花でいっぱいになりたい」との思いから、新潟球根(株)社長木村藤雄さんは、4年前から花を町に寄贈。町が矢代田駅や小・中学校などに配っていました。そして、4年目の今年、矢代田駅が駅を利用する方々の心をなごませてくれたとして新潟球根(株)へ感謝状を贈呈。木村社長は、「花のある生活の中で心にゆとりを持ってもらえたら」と町を花でいっぱいにする夢を語っていました。



好天に恵まれ 植木盆栽まつり賑わう

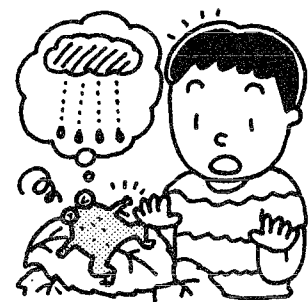


五月三日～五日の三日間、恒例の植木盆栽まつりが行われ、沢山の人で賑わいました。花と緑推進協議会の主要行事である花の苗プレゼントには、長蛇の列ができ、植木盆栽まつり二十周年記念の年に花を添えました。

早くも1万人達成!!



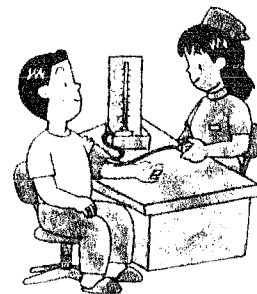
四月にオープンしたばかりの「こすど温泉健康センター」花の湯館の入場者が5月6日に1万人を突破しました。幸運の1万人目は田上町の田辺勇さんで、田辺さんには小須戸町の特産品が贈られ、思わぬおみやげにニッコリ。「休憩所は狭いけどお湯がいい」と評判のようで、町内より町外のお客さんが多いとか。「百聞は一浴にしかず!?」一度足を運んでみてはいかがでしょう。



水無月や風に吹かれた古里へ
鬼貫 一茶
戸口から青みな月の月夜かな
一茶の句の「青みな月」とは、青葉がこんもりと生き生きと茂る様なので、水がないというイメージとは違うような気もしますね。
水無月という言葉で思い出すのは、去年の猛暑による水不足、そして一昨年の天候不順による不作です。このような異常気象の原因は、地球環境の悪化と無関係ではないようです。六月五日は「環境の日」、六月は「環境月間」です。わたしたち一人一人が環境問題に対する理解を深め、責任を自覚したいものです。

住民健診の お知らせ

一年に1度は健康の確認を!!



検診日程表

期日	時間	会場	対象地区
6月9日 (金)	午前9:30～11:00	竜玄集落開発センター	竜玄
	午後1:00～3:00	新保地域研修センター	新保
6月12日 (月)	午前9:30～11:00	水田集落開発センター	小向・水田
	午後1:00～3:00	横川浜集落開発センター	横川浜
6月13日 (火)	午前9:00～11:00	ヤシロダ健康体力研究所 (旧竹井機器体育館)	午前 矢代田2～矢代田6・舟戸町
	午後1:00～3:00		午後 矢代田7～矢代田13
6月14日 (水)	午前9:00～11:00	鎌倉地域研修センター	鎌倉
	午後1:00～3:00	ふれあい会館	天ヶ沢1～3・矢代田1・松ヶ丘
6月15日 (木)	午前9:00～11:00	中央公民館	午前 大川前・本町・若葉町
	午後1:00～3:00		午後 新栄町・雁巻・蔵町
6月16日 (金)	午前9:00～11:00	中央公民館	午前 中央町・諏訪町・うでこき
	午後1:00～3:00		午後 新町・花園町・文京町

- 健康手帳をお持ちの方は、当日持参して下さい。
- レントゲンの結果は、2カ月以上たって連絡のない場合は、異常ありません。

住民健診を実施いたします。都合の良い会場で受診して下さい。日程は右表のとおりです。

〈対象〉
今年三月に実施した「住民健診調査票」により、受診希望者に「受診票」を送付します。記入の上、当日持参ください。なお、「受診票」が届かなかった方で、受診を希望する方は、保健衛生係にご連絡ください。

- ◎基本健康診査(血圧・尿検査・血液検査等)と肺がん検診は、四十歳以上の方。
- ◎結核検診は、二十歳～三十九歳の方。
- ※年齢はいずれも、平成八年三月三十一日現在の年齢です。
- 〈お願い〉
◎四十歳以上で、肺がん検診該当者は、問診票を必ず記入のうえ持参して下さい。
- ◎基本健康診査で、心電図、眼底、血糖検査が必要とされた方は、当日五百円納入願います。
- ◎検診当日は、貴重品等はお持ちしないようお願いいたします。
- ◎「受診票」が届いた方で、医療機関等で療養中の方や、受診済みの方は、必ず保健衛生係までご連絡ください。
(☎三三三三三三三三三三
内線三十一・三十二番)



「みなつき」、または「みなづき」と読みます。旧暦六月のことで、新暦では七月ごろです。俳句では、晩夏の季語になっています。

語源についてはいろいろな説がありますが、水が枯れる季節という説がよく知られています。それで、六月の異名として、「水待月」という言葉もあります。晩夏、暑さにあえて風を待つところから、「風待月」ともいわれています。新暦七月は、まだ梅雨のころですが、その後にくる猛暑を水無月といったのでしょうか。

語源としては、このほかに「農事みなつきたる意」すなわち農作業をみなやりつくした月という説もあります。また、「五月に植えたる早苗のみなつきたる意」ともいわれています。

水無月の埃積れる芭蕉かな
鈴木花蓑